

公募型プロポーザル審査の選定結果について

地方独立行政法人大阪市博物館機構

1. 案件名称

令和6年度 NFT を活用したプロモーション企画・実施業務委託

契約期間：契約締結日から令和7年1月31日まで

2. 審査委員会の開催日及び開催場所

開催日：令和6年7月31日（水）

開催場所：大阪歴史博物館 4階 第三会議室

3. 選定した受注予定者

ナカシャクリエイテブ株式会社

4. 審査委員（順不同、敬称略）

梶浦 愛子氏（大阪観光局 万博 IR 推進室観光ショーケース担当課長）

平野 いずみ氏（大阪市経済戦略局 文化部博物館支援担当課長）

谷川 淑子氏（公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 企画局企画部企画事業課 参事）

5. 審査を行った事業者

2者

6. 評価基準及び審査結果（審査委員の評価点の合計点）

評価項目	評価基準	配点	A社	B社
1. 企画力	本事業の目的等を十分理解し、その実現に資する推進方針や創意工夫が行われている提案内容となっているか。	105点	75点	74点
2. 効果性	機構6館の来館促進につながる提案となっているか。	75点	37点	50点
3. コストパフォーマンス	費用対効果が高い計画になっているか。	60点	42点	39点
4. 実施体制、実現可能性	業務の実施体制や手法、業務スケジュールの設定が具体的であり、実現性がある提案となっているか。	45点	34点	34点
5. 実績	類似または同様の業務に関する受注実績や優秀な業務実績等を有しているか。	15点	14点	12点
合計		300点	202点	209点

7. 審査結果

審査の結果、評価の合計点が最も高かった、ナカシャクリエイテブ株式会社を本業務委託の受注予定者として選定する。

8. 全体講評

本提案は求めた内容を満たしており、事業目的である来館に繋げる企画力及び効果性並びに実務を踏まえた実施体制等において、業務を適切に実施できると判断した。

ただし、広報面においては、EXPO2025 デジタルウォレットのダウンロードを促進するための更なる工夫が必要である。具体的には、キービジュアルのデザイン性の向上のほか、紙媒体の広報物を各館等に設置するだけでなくダウンロードをサポートする案内などの点において、更なる工夫の余地がある。また、周辺施設との連携においても、観光客がよく訪れる施設等、連携先を十分検討してもらいたい。